

2021年度
(令和3年度)
学校関係者評価委員会報告書



学校法人トヨタ東京整備学園

専門
学校

トヨタ東京自動車大学校

Toyota Technical College Tokyo

学校関係者評価委員会報告書

1. 開催日 2021年（令和3年）12月3日（金曜日）
2. 時間 午前13時30分～15時00分
3. 場所 専門学校トヨタ東京自動車大学校 1号館 123教室
4. 出席者 学校関係者評価委員：松野来(オンライン出席)、 中原隆雄、矢部寛明、林田英樹、愛甲彰人
欠席者 学校関係者評価委員：佐藤隆徳
事務局：上田博之、高柳尚之、若林良弘、石水渡、太田靖也、藤川龍彦、江頭裕司

学校関係者評価委員5名出席、1名欠席、過半数出席しているので委員会は成立

5. 概要

- 1) 開会挨拶：上田
- 2) 資料確認（委員会終了後回収資料あり）
自己評価報告書（事前配布）
- 3) 『車が好き』で『逞しい』人材を育成する活動報告（A3資料説明）：石水
- 4) 自己評価報告書の基準1～基準10までの説明
学校関係者評価委員による評価（評価書記入）

5) 委員からの質問・意見（議事録より抜粋）

松野委員：上級課程への進学率が高いのですが、どのような事を行っているか？

授業カリキュラム中に上級課程紹介をしている。1年生の4月から上級課程がどう言うものであるのかを紹介し、実際に授業の見学会を行っている。この40年で自動車は高度化されており、2年課程では足りない部分がたくさんあるので上級課程に力を入れている。

矢部委員：当社も今年度8名外国人エンジニアを受け入れ、来年は34名受けるとのことで、外国人エンジニア向けの教育体制を整えないといけない状況です。カタカナ、ひらがな、喋る、聞く、こういったことに重点を置かないと現場にとけこめないのが、学校教育での作業を現場に落とし込みながらやっているところです。当社では6か月かけて日本語教育・整備技術を教育しているのですが、日本語に重点を置いてやっています。学校での教育を参考にして行っています。

国際整備科、並びに留学生について、事前のご質問がありました。内容としては3年間または、2年間で求める力、進捗状況、育成の好事例・失敗事例等とありますが、資料の中に国際整備科の試験問題を配布しています。試験問題は今年度の試験問題です。昨年度は日本人が行う試験問題の量を減らして等行いましたが、日本語学校の先生からカタカナ漢字をしっかりと理解させる必要があるとのことで、昨年度の試験問題から変更し実施しています。

初年度やってみて反省するところがある中で、日本語の勉強に力を入れようと、車の部品を覚えるのも大事ですが、日本語を覚える事を優先するカリキュラムに進めたのが今年となります。

中原委員：千葉トヨタ様の新技術の展開とは、どのような内容か？

新技術を千葉トヨタ様よりトレーナ派遣をしてもらい学生へ展開したとありますが、緊急事態でも安心して車に乗れます等をメインにして講習をして頂きました。

資料の中のプリント④は横浜トヨペット様に ARVR 特別講習をやっていただきました。

林田委員：e-mail のやり取りを学習するような教育をやっているのでしょうか？

お客様とは電話より e-mail が多くなってきているので、e-mail は相手に伝えるのは難しいので、必要だと思いました。最近の学生はラインでやり取りするのでいきなり本文で送ってくるのが多いので、そこはしっかり教育して頂けると助かります。

中原委員：最近の学生はラインでやり取りするのでいきなり本文で送ってくるのが多いので、そこはしっかり教育して頂けると助かります。

販売店の方との失礼がないよう何年か前からマナー講習のカリキュラムに入れていきます。

松野委員：退学率はどの位か

退学率は自動車整備科で 3.7%、1 級自動車科は 0.7%、専攻科が 0%、モビリティ科が 0%となっています。

矢部委員：5-3-1 につきまして、2 か月休校にした期間、どのように学生とコミュニケーションを取られたのでしょうか？当社もコロナ禍で歓迎会等のイベントができない中で、どのようにコミュニケーションを学校では取ったのかお聞かせいただければと思います。

個人面談の回数を増やしました。コロナ陽性者が出たのはほとんど夏休みで、学校にいない時です。でも学校に連絡が来るので学校が把握できているのです。色々な場面でコミュニケーションを取ることがありました。

中原委員：弊社でも職域接種 3 回目を計画しているので協力します。

地域の貢献活動は是非復活して欲しいですね。ボランティアだと年が離れた人と接することができるので、訂正線の部分を復活できると非常に良いかと思えます。

愛甲委員：コロナ禍のなかで学生ボランティアを出して頂きありがとうございます。やらなければいけないことがたくさんある中本当にありがとうございます。先日も地域清掃に沢山出席して頂きありがとうございます。このような活動を子供達は見て、育っていきます。

その他

高等教育就学支援制度についてですが、今年は、75 名の学生が支援を受けました。

資料の最後にコロナ禍特別対応として当校ではコロナにおける検査を受けた学生に関しての行動履歴を確認しております。また、12/1 現在のワクチン接種率は学生 86%、職員は 95%となっております。

学校のその他の対応として、校内寮生のクラスター防止に取り組んでおります。学生の中には無理

してでも出席する学生が以前からいるので、数年前から当校では発熱があった場合は公認欠席として
います。

インフルエンザに関してもワクチン接種を学生に行っています。今月の 15 日前後に全学生に対して
行う予定です。

夏休み・冬休みの長期休暇は帰郷できない学生もいるので在寮できるようにしています。

スーパーGT に関しても非常に厳しい感染防止対策が講じられていました。

今までやってきたものをこれからもやっていきたいので資料からなくすのではなく訂正線で記載
しています。コロナが収まったら今まで通りの活動をしていきたいと考えています。また、来週は近
くの小学校へボランティアとして 25 名程の学生が行く予定となっています。

最後に付けました A3 の資料、こちらの学校への評価の記載をお願い致します。

学校関係者評価委員会終了

6. 総括

今年度もコロナ対応部分の説明に時間をかけ説明させて頂いた。

コロナ禍で、活動が制限されている中ではあるが、感染防止策を徹底し出来る事を一つずつ確実に行って
いきたい。地域貢献活動は、通常の生活に戻れば今まで通り実施していきたい。

また、各学科で共通して定期点検等、点検・整備作業は項目ごとの作業でなく通し作業で実施し、社会に
出た時に即戦力として活躍できる人材育成を続けていきたい。

以上